

## 市史編さん便り

第22号 2020年12月25日(金)発行  
土佐清水市教育委員会生涯学習課  
市史編さん室

# 本年4～12月の市史編さん事業の流れ

■講話や授業, ■市史会議

■市史編さん便りの発行

4月15日(水) 戦争遺跡測量調査(震洋特攻艇越基地) 出原恵三編集委員, 市史編さん室

4月21日(火)～22日(水)

戦争遺跡測量調査(震洋特攻艇越基地) 出原恵三編集委員, 市史編さん室  
武藤清編集委員

**4月24日(金) 第1回市史編さん・編集合同委員会 コロナ禍により延期**

5月28日(木) 市史編さん便り第1号発行

6月8日(月) 市史編さん便り第2号発行

6月10日(水) 足摺半島戦争遺跡調査 市史編さん室

6月12日(金)～13日(土) 中浜小学校、中央公民館

大津小学校史資料調査 市史編さん室

高知県学校資料を考える会

高知県立高知城歴史博物館

高知県ミュージアムネットワーク

**6月16日(火) 土佐清水市立小中学校長会にて民具のことを周知する。**

6月17日(水) 市史編さん便り第3号発行

6月26日(金) 国重要文化財・吉福家住宅の清掃作業 市史編さん室

**7月3日(金) 第1回市史編さん・編集委員会(中央公民館)**

令和2年度の市史編さんの取り組みの概要の確認

執筆上の課題の確認・グループ協議・全体会

7月15日(水) 市史編さん便り第4号発行

7月18日(土) 大津小学校史資料調査(中浜小にて), 市史編さん室,

高知県学校資料を考える会, 高知県立高知城歴史博物館

高知県ミュージアムネットワーク

7月22日(水) 市史編さん便り第5号発行

7月29日(水) 市史編さん便り第6号発行

8月7日(月) 市史編さん便り第8号発行, 市史編さん便り第9号発行

8月21日(金) 市史編さん便り第10号発行

8月31日(月)～9月1日(火) 唐人駄馬遺跡試掘確認調査

ダディー牧場建設に伴う文化財保護法第94条に基づく試掘確認調査を実施, 市史・考古部門の調査も兼ねる。

出原恵三市史編集委員, 市史編さん室

**9月3日(木) 足摺岬小・下ノ加江小・幡陽小・下川口小・三崎小5校平和学習  
土佐清水市内に所在する戦争遺跡についての講話 市史編さん室**

9月4日(金) 市史編さん便り第11号発行

9月15日(火) 市史編さん便り第12号発行

9月24日(木) 市史編さん便り第13号発行

- 10月6日(火) **市史編さん便り第14号発行**
- 10月12日(月)～13日(火) 市内加久見・三崎・斧積・爪白・下川口・宗呂ほか  
濱田真尚元高知県立歴史民俗資料館副館長  
山岡遵いの史談会会長  
市史編さん室
- 10月22日(木) 浜岡篤市史編集委員が「第8章一次原稿」を編さん室に提出。
- 10月23日(金) **市史編さん便り第15号発行**
- 10月29日(木) 戦争遺跡測量調査(震洋特攻艇越基地) 出原恵三編集委員  
武藤清編集委員  
市史編さん室
- 10月30日(金) 第2回市史編集委員会(中央公民館)**  
**執筆上の課題について協議**
- 10月31日(土) 中世山城調査(下ノ加江地区・市野々城)  
松田直則編集委員、武藤清市史編集委員ほか。
- 11月2日(月) **足摺岬小学校3～4年生社会科授業 市史編さん室**  
**少年時代の中浜万次郎が過ごした中浜について**
- 11月4日(水) 土佐清水市文化財審議会  
市内10か所の近世から近代にかけての自然災害碑の市史跡へ答申  
の協議(視現地察⇒協議⇒答申作成⇒教育委員会に提出)
- 11月5日(木) **市史編さん便り第16号発行**
- 11月9日(月) **土佐清水市連合婦人会 中央公民館 市史編さん室の講話**  
**「中浜万次郎を育んだ中浜浦一母にスポットを当てて」**
- 11月13日(金) 令和2年度市町村教育委員会連合会事務局職員等合同研修会  
四万十市立文化センター  
文化財や社会教育と学校教育の関連についての研修
- 11月14日(土)～16日(月) 中世山城調査(長野城・小方城・布城)  
松田直則編集委員、武藤清市史編集委員、市史編さん室、  
元市生涯学習課長橋本清郎氏、高知新聞取材同行。
- 11月19日(木) **市史編さん便り第17号発行**
- 11月24日(火) 土佐清水市定例教育委員会  
土佐清水市文化財審議会の答申を受けて市内10か所の近世から近  
代にかけての自然災害碑を市指定文化財に決定(11月27日登録)。
- 11月25日(水) **市史編さん便り第18号発行**
- 11月30日(月) **中央公民館講座「大漁バラ抜き節教室」基調講演**  
**市史編さん室**
- 12月1日(火) **市史編さん便り第19号発行**
- 12月11日(金)～13日(日) 中世山城調査(宗呂城・小馬場城・斧積城)  
松田直則市史編集委員、尾崎召二郎調査協力員  
市史編さん室
- 12月14日(月)～15日(火) ※これにて測量調査は完了。  
戦争遺跡測量調査(震洋特攻艇越基地) 出原恵三編集委員  
市史編さん室
- 12月16日(水) **市史編さん便り第20号発行、市史編さん便り第21号発行**
- 12月17日(木)～18日(金) 戦争遺跡調査(足摺岬探信所) 出原恵三編集委員

12月25日（金）市史編さん便り第22号発行

※以上が本年4月から12月までの市史編さん事業に関わる取り組みの流れです。

令和3年2月5日（金）第2回市史編さん・第3回市史編集合同委員会（予定）  
中央公民館3階・多目的ホール 14:00～16:00 予定。

## 「市史執筆のブレイクタイム(17)」 “三崎史に寄り添った谷口保之さん”

市史編集委員 岩井 拓史

歴史を伝承するためには、次世代を見据えた見識と多大な労力が必要である。多くの方々が本市の郷土史に向き合ってきた。三崎の下ノ段地区に在住する谷口保之さんもその一人だ。

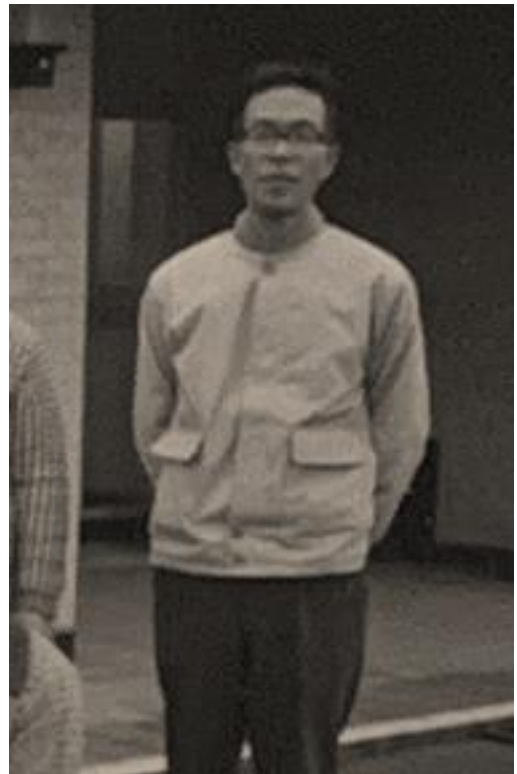
谷口さんは、三崎地区の公民館主事として、長きにわたり社会教育の振興に心血を注いできた。大正12年（1923）生まれで、令和2年現在97歳である。

谷口さんとの出会いは平成15年、私が市民図書館に採用1年目のときであった。移動図書館車で三崎小学校を巡回したとき、自転車に乗った男性がやってきた。それが谷口さんだった。学校巡回の際は、児童・生徒以外の利用は珍しい。丁寧にページをめくり、本を選定する姿が強く印象に残っている。

それから交流が始まり、私の住まいも三崎だったことから何度も自宅にお邪魔した。当時80歳代ながらも“電子メール”で蔵書リクエストをいただくこともあり、その学習意欲と探求心に驚いたものだ。後年、シニア向けのインターネット講座を市民図書館で行ったとき、受講者を勇気づけるために谷口さんのエピソードを度々紹介した。

若気の至りで、図書館の「選書論」について谷口さんと激論を交わしたこともあった。私自身が中央公民館長となった今振り返ると、きっと愛情と期待の表れだったに違いないと解釈している。

昭和48年、三崎地区公民館は谷口さんが関わって「潮の香文庫」と名づけられた



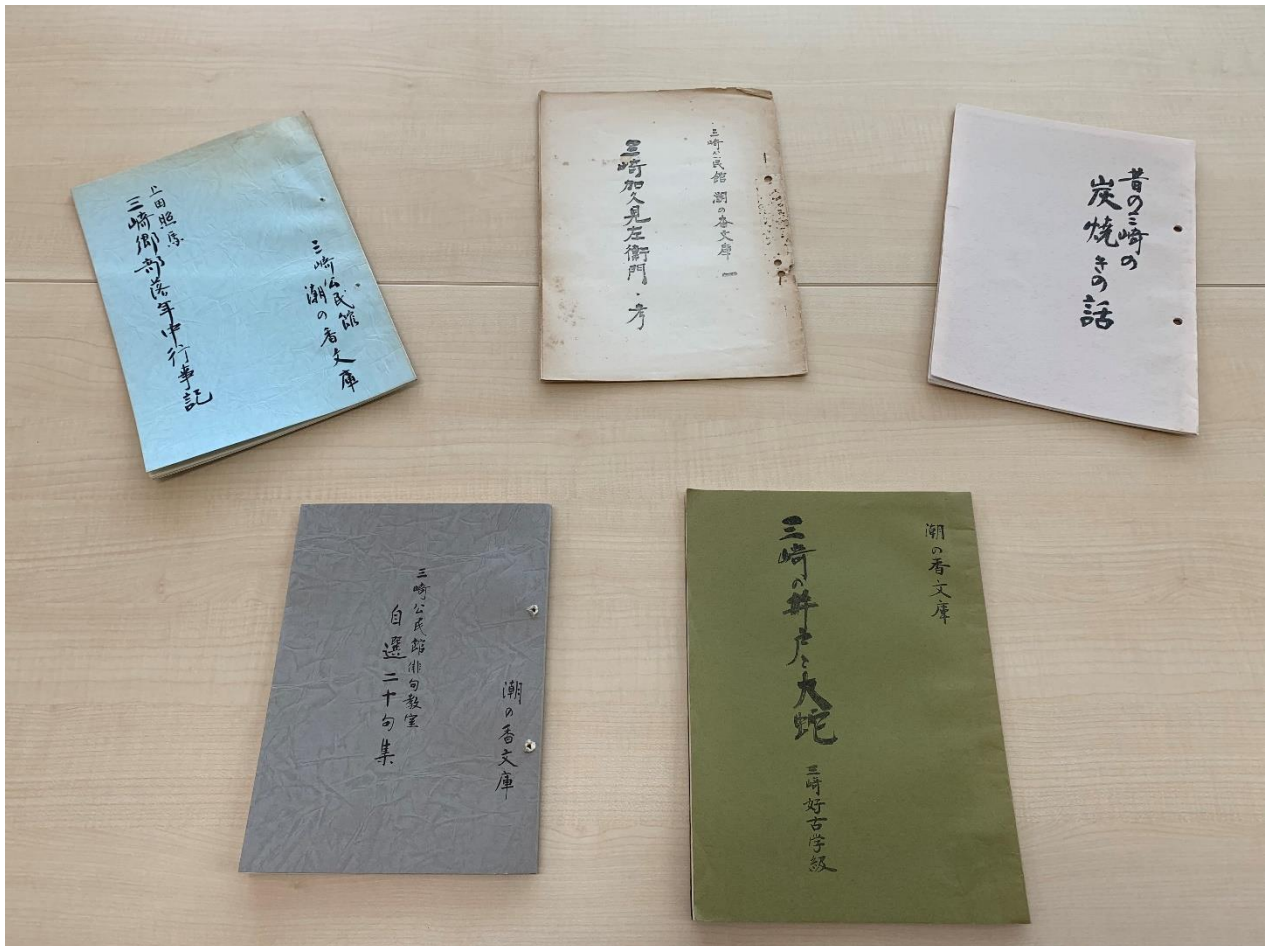
谷口保之さん(掲載は本人承諾済み)

昭和51年(1976)・53歳当時

地域資料の発行を始めた。昭和 51 年に「三崎郷土史の会」が発足したとき、発起人会での記録は、谷口さんによって丁寧にまとめられている。同会は、ふるさとの記憶の糸を結びつけるために、様々な分野の歴史と関わりながら記録を残してきた。自然災害碑や戦没者名簿、地元の方言など多岐にわたり、図書館職員時代は、その調査業務で随分と助けられた。これらの地域資料は、私たちにふるさとへの誇りと愛着をもたらせてくれる。

縁というのは本当に不思議なもので、自宅にお邪魔したときに、ご本人の蔵書の中から 1000 ページ以上の厚い資料を託された。それが『旧土佐清水市史』で、それから 10 年以上たったのち、新市史の編さん事業が決まり、自身に関わることになった。谷口さんは調査担当委員として、『旧市史』の編さんにあたっている。

過日、谷口さんたちが残した記録へのお礼と『新市史』の報告を兼ねてハガキを出した。これに対する返信には、温かい一言一句で『新市史』への期待と要望が綴られてあった。自信をもって渡せる日は千里先だが、その日が来るよう、私たちは歴史に寄り添う姿勢を持たなければならない。



#### 谷口保之さんが関わって取りまとめられた郷土史関係資料の一部

- 左上より、上田照馬『三崎郷部落年中行事記』三崎公民館・潮の香文庫，1979 年  
『三崎加久見左衛門・考』三崎公民館・潮の香文庫，1973 年  
『昔の三崎の炭焼きの話』三崎公民館・潮の香文庫，1988 年  
『三崎公民館俳句教室 自選二十句集』三崎公民館・潮の香文庫，1981 年  
『三崎の井戸と大蛇』三崎好古学級，1990 年





岩井拓史編集委員への谷口保之さんからの激励の返信葉書(掲載は本人の承諾済み)